



先日、中庭のイチョウの樹から芽が出ていました。

とても幸せな気持ちになりました。

この樹は長年園庭にあります。

昨年、新園舎建設に伴い、幹を半分以上、根は長いところは3メートル以上切ることになりました。

おかげで何とか残せることにはなりましたが、建物との距離も近く、とても陽当たりが良いとは言えません。

前日は3.11。

東日本大震災が起きた日でした。

多くの人が地震や津波、原発等の影響で大切なものを失ったり、悲惨な光景を目の当たりにしたり、命を落としたり、困難な生活を余儀なくされたりと様々な苦難があり、今でも大きな悲しみがあります。

そして、この数週間、日本中、世界中の人々が感染症の恐怖に晒されています。

感染した方の中には亡くなられた方もいて、または偏見等によって苦しんでいる方もいます。

抑圧された中で、傷つけ合うことも起きていたり、ピリピリして普段なら何気ないことでも今まで積み上げた大切な関係が崩れるきっかけになったりと辛く悲しい日々が続いています。

確かに私たちは動くことができますが、次々降りかかる苦しみを避けることはできないのだと思います。

イチョウの樹は歩くこともできませんし、さらされる苦境から逃れることはできませんが、その逆境に負けることなく、誰かを傷つけることなく、周りのせいにすることなく、自分のできる精一杯の力をもってひたむきにただ生きています。

この生命力、命の輝きにとっても感動しました。

そして、私も希望を持って、前向きに、押し寄せる困難をも力に変えて、精一杯生きていきたいと思いました。

「春です！」

「今日は私たちの卒園式です。」

3月17日、第二幼稚園の立派な卒園生が力強く発表してくれました。

どんなに厳しい季節があっても必ず春は来ます。

あなたの、一人ひとりの、世界中のみんなの一日が、小さな幸せや希望と共に、すてきな今日になりますように。